

別記様式（第14条関係）

附属機関等会議録

令和 6 年 10 月 4 日

会議の名称	令和 6 年度 第 1 回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議
開催日時	14時00分から 令和 6 年 9 月 24 日 15時30分まで
開催場所	島田市役所 第 2 委員会室
会議の議題	1 開会 2 説明及び意見交換 • 島田市中小企業・小規模企業振興基本条例の確認 • 令和 4 年度及び令和 5 年度の会議の振り返りと事業の進捗について • 令和 6 年度の議論の方向性（令和 7 年度実施事業）について 3 閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 • 非公開（全部 • 一部）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	4 人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>年度初回の会議であったため、まずは、中小企業・小規模企業振興基本条例の趣旨、各団体の役割を各委員に共有した。</p> <p>その後、「令和 4 年度及び令和 5 年度の会議の振り返りと事業の進捗」について、事務局説明のうえで「令和 6 年度の方向性について」議論した。</p> <p>○高校生の就職実態調査 進捗状況 →島田商工会議所青年部が市内 5 高校の全学年を対象にアンケートを実施予定であり、島田市も後援している。</p>

	<p>委員から挙がった発言（意見や質問等：●）と事務局の発言（回答等：→）は以下のとおり。</p> <p>●最終的なアンケート結果は、集計されて出てくるのか →集計されて出てくるため、会議にて報告予定。</p> <p>○親子の会社見学 →オヤカクに対応するため、親子ではなく親のみを対象とする。 →開催時期は1月2月を予定しており、市内3・4企業を周ることを想定している。</p> <p>委員から挙がった発言（意見や質問等：●）と事務局の発言（回答等：→）は以下のとおり。</p> <p>●子の就職に関して、親がどう考えているのかアンケートを取ってほしい。</p> <p>●自社も参加したいとの意向があれば、今から参加企業として追加してもらうことは可能か →可能である。提示した企業は案のため、参加企業の募集は行う。</p> <p>令和6年度の議論の方向性を検討するにあたり、市で実施した（している）施策の説明をした。それらをヒントに来年度の施策検討に繋げるための議論をした。</p> <p>委員から挙がった発言（意見や質問等：●）と事務局の発言（回答等：→）は以下のとおり。</p> <p>●補助金については手を尽くしてもらっていると思う。いつまでも補助金を出すわけにもいかないため地元の中小・零細企業が頑張れるようなネタを出していくのが良いと思う。</p>
--	--

	<p>●人材確保に関しては、募集をかけても高齢者は来てくれるが、若い方は来てくれない。従業員の年齢が高くなしていく中で、外国人の雇用を促進するようなものを考えたい。</p> <p>→国や他自治体で行われている施策等、情報収集を行い、情報提供していきたいと考えている。</p> <p>●どの企業も人手不足は深刻だが、民間の求人募集会社を利用するとかなりの金額がかかりてくる。その費用負担ができずに人を雇うことができない、という企業もあるため、サイト利用料の補助などがあればありがたい。</p> <p>●高校は大学への指定校推薦枠を持っているが、生徒が各企業から良い雇用条件を提示されると、指定校推薦枠を捨てて、就職を希望するようなケースもある。これにより、絶対的な生徒数は減ってきているが、勤労意欲が低下してきているわけではないということがわかる。こうしたことから、いかに地元企業を知ってもらうかが、若者の採用を確保するうえでとても重要になってくると思う。</p> <p>●自社で行ったインターンシップにおいて、「就活イベントを企画しよう」をテーマにワークショップを行った。その中で、若者が地元に帰ってこない理由として、知っている企業がない、都会に出ると有名な企業しか目に入らなくなる、都会と比べると地元に魅力が少ない、という意見が多数挙げられた。魅力ある地域・地元づくりや、企業のPRが必要になってくると考える。</p>
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	